

報告第9号

株式会社パブリックサービスの経営状況の報告について

株式会社パブリックサービスの経営状況は、別添のとおりであるので、地方自治法（昭和22年法律第67号）第243条の3第2項の規定により報告する。

平成29年9月5日提出

逗子市長 平井 竜一



# 経 営 状 況

第26期事業年度 事業報告  
自 平成28年4月 1日  
至 平成29年3月31日

第27期事業年度 事業計画  
自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

株式会社 パブリックサービス  
PUBLIC SERVICE CORPORATION

# 第26期事業報告

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

株式会社パブリックサービス  
代表取締役 稲垣 正

## I.事業の概況

### 1.事業の経過および成果

#### (1) 事業全般について

【受託事業】逗子市から受託した駐輪駐車場の管理運営、福祉バスの運行などの公共サービス業務、全て順調に遂行しました。

当期より自転車保管場所管理業務(沼間アーデンヒル内)が新しく加わりました。

【指定管理事業】市民交流センターは当期2年目に入り、「市民協働」推進の下スタッフ一同、企画から運営まで精力的に取り組みました。

当期は県の助成金プロジェクト「共育ネットワーク構築事業」が加わり、大きな成果を残すことが出来ました。同センター会議室及び交流スペースの利用者数は延べ14万人に上り、また屋内温水プールも積極的な広報活動が功を奏し利用者数を前期比17%増の6万3千人に伸ばしました。

【自主事業】市民の方や市内法人等を顧客とする当事業では、ガーデンケアが前期比10%増の受注件数を達成しました。その他の業務も堅調でした。

(※)7ページに「事業一覧」を掲載しています。

#### (2) 安全第一と顧客サービス向上について

「安全第一」と「顧客サービス向上」は当社事業全ての根幹であり、日々強化に努めております。

##### ① 安全第一

「指差呼称(指さし点検)」は引き続き励行しました。

春と秋全職場を巡回して課題を発見する「安全パトロール」、また「安全対策会議」や「衛生委員会活動」を通じて業務改善、安全衛生向上に努めました。

逗子警察署のご厚意による交通整理員実技講習が実施されました。

職場の設備(防災設備含む)及び機器の構造や操作を再確認しました。

##### ② 顧客サービス向上

プロのトレーナーによる「接客マナー研修」を駐輪駐車場の勤務者(40名)に、また公園管理チーム・ガーデンケアチームには専門家の「庭木剪定技能研修」を行いました。

### (3) 高齢者雇用について

#### ① 再雇用制度

再雇用制度(73歳から1年間)は平成28年1月開始、当期は12人を再雇用しました。

#### ② 健康管理

定期健診(特定健診等)受診は義務としています。熱中症、インフルエンザ等感染症に対してはその時節に都度注意喚起しており、勤務者の体調変化があれば職場から即時に報告を受けます。

#### ③ 従業員統計

当期(26期)末現在の従業員総数は124名(うち女性17名)、平均年齢は66.8歳[受託+自主(第一事業部)は68.4歳。市民交流センター(第二事業部)は54.7歳]です。

(表1)をご参照ください。

(表1)

(単位:人)

事業年度(期末日)	従業員 総数	内訳				備考
		60歳以上 男性	60歳以上 女性	60歳未満 男性	60歳未満 女性	
22期(平成25年3月末)	105	98	7	0	0	-
23期(平成26年3月末)	97	92	5	0	0	-
24期(平成27年3月末)	109	100	7	0	2	(注)
25期(平成28年3月末)	128	104	13	2	9	〃
26期(平成29年3月末)	124	105	9	2	8	〃

(注)市民交流センター指定管理者事業等については、採用時の年齢制限を解除しています。

### (4) シルバーサービス事業について

当期の売上高は81万円で前期比10%増でした。市内には当サービス(掃除、家事ほか)に対する潜在的需要もあると思われまますので、今後事業の拡大を模索してまいります。

### (5) 損益の状況 (表2)

当期:第26期事業年度(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

#### ① 概要

売上高は2億1,387万円。営業利益178万円。経常利益238万円。当期純利益218万円でした。営業外収益64万円のほとんどは自動販売機からの収入です。特別利益及び特別損失の21万円は人材派遣事業許可取得に要した申請費用で「新事業開発準備金」から充当したものです。

#### ② 26期見積損益計算書との比較

当期実績は見積損益に比べ売上が増加した事、並びに売上総利益(粗利)率が若干上振れた事により利益増になりました。

#### ③ 第25期実績との比較

26期は25期と比べ売上が増加しましたが、最低賃金(神奈川県)が前期910円/時間から当期930円/時間に改定された事により売上原価も増加しました。

当期から導入した「通勤手当」140万円が売上総利益(粗利益)の減少要因になりました。

(表 2) 損益計算書(要約)

(単位:千円)

	26 期実績	26 期見積	25 期実績
(売上)			
受託事業	(115,378)	(114,300)	(108,418)
指定管理事業	(61,297)	(53,800)	(55,051)
自主事業	(37,194)	(34,500)	(33,768)
<b>売上高合計</b>	<b>213,870</b>	<b>202,600</b>	<b>197,238</b>
売上原価	192,665	183,800	175,145
<b>売上総利益(粗利益)</b>	<b>21,204</b>	<b>18,800</b>	<b>22,093</b>
販売費及び一般管理費	19,420	19,000	18,929
<b>営業利益</b>	<b>1,783</b>	<b>▲200</b>	<b>3,164</b>
営業外収益	647	701	655
営業外費用	42	10	0
<b>経常利益</b>	<b>2,388</b>	<b>491</b>	<b>3,819</b>
特別利益	212	0	0
特別損失	212	0	0
<b>税引前当期利益</b>	<b>2,388</b>	<b>491</b>	<b>3,819</b>
法人税等	200	200	199
<b>当期純利益</b>	<b>2,188</b>	<b>291</b>	<b>3,620</b>

(注) ( )は売上高の内訳です。

## (6) 財政の状況 (表 3)

・当期は古くなった小型バス 1 台を新車に買い換えたので、固定資産が増加しております。

・利益剰余金には「市民貢献準備金」2,000 万円及び「新事業開発準備金」1,807 万円が含まれています。

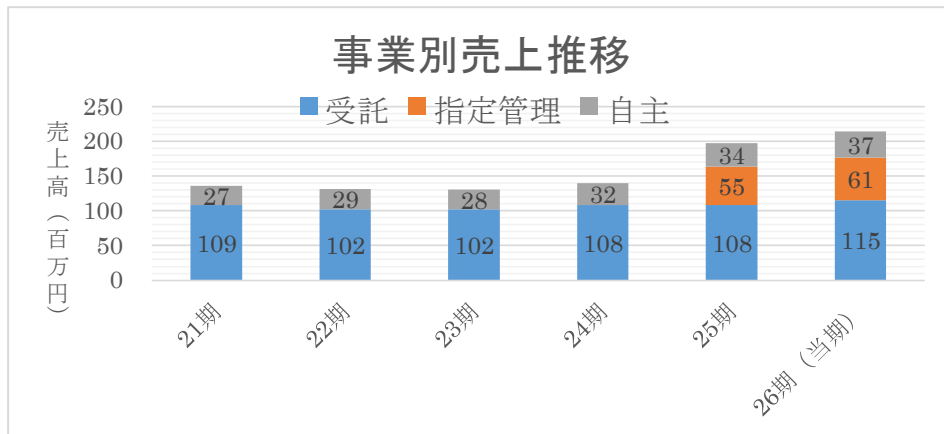
(表 3) 貸借対照表(要約)

(単位:千円)

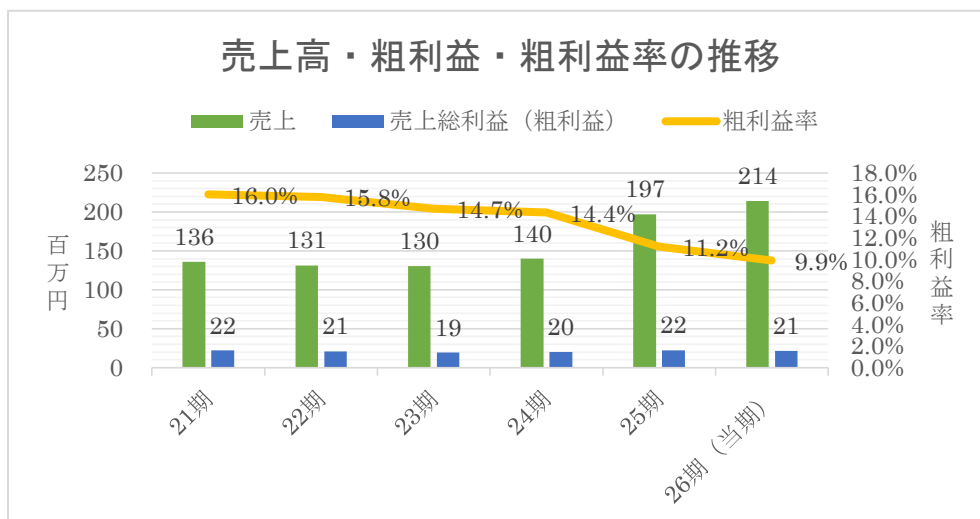
	26 期	25 期	備考	
資 産	現預金	95,729	98,206	-
	その他流動資産	12,720	10,748	-
	固定資産	5,804	1,301	バス買い換え
	<b>合計</b>	<b>114,254</b>	<b>110,256</b>	
負 債 資 本	流動負債	22,783	20,761	-
	固定負債	3,000	3,000	-
	資本金	10,400	10,400	-
	新事業開発準備金	18,079	18,291	目的準備金
	市民貢献準備金	20,000	0	目的準備金
	その他利益剰余金	39,992	57,803	-
	<b>合計</b>	<b>114,254</b>	<b>110,256</b>	

(7) 事業損益の推移(6期分)

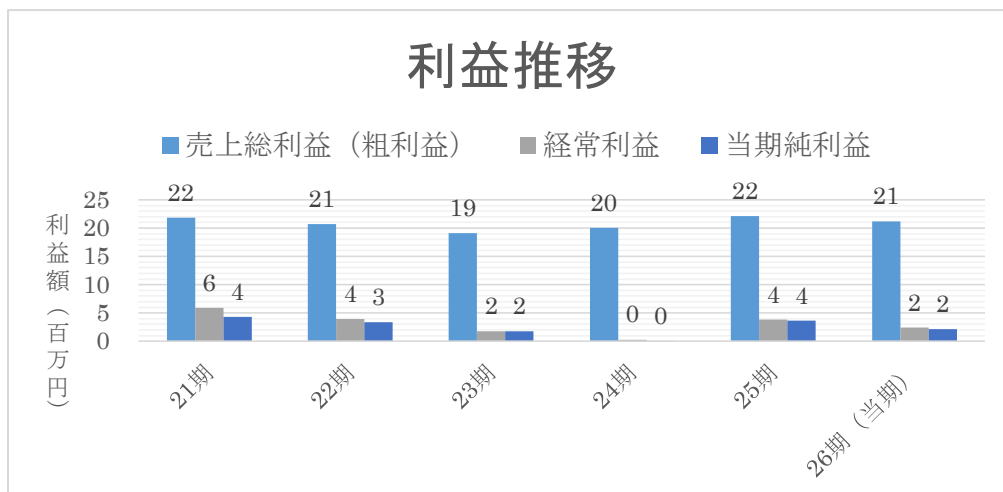
(表 4)



(表 5)



(表 6)



## (8) 新事業開発の現況

- 逗子文化プラザホール指定管理の公募が予定されています。前回の惜敗を糧に再挑戦を目指します。
- 人材派遣の事業許可を取得しましたので、将来の新規事業に繋がります。

## (9) 実施事業の利用者等の実績

8 ページの表「事業実績に関する事項」をご参照ください。

## 2. 業務運営事項

- ・平成 28 年 4 月 逗子市等との間で 28 年度契約を締結
- ・平成 28 年 5 月 第 25 期 監査役監査
- ・平成 28 年 6 月 第 25 期定時株主総会 社長交代、役員（重任・新任）
- ・平成 28 年 7 月 「株式会社パブリックサービスの経営状況」を逗子市長へ提出
- ・平成 28 年 6 月以降 第 26 期取締役会：6 回開催しました。

## 3. 会社に対処すべき課題

### (1) 安全第一

安全で事故のない職場運営を行うため「指差呼称」の徹底をはじめ、業務の安全点検を継続的に実施します。

### (2) 顧客サービスの品質向上

マナー研修及び技能研修の実施を含め、各職場のサービス品質を高めていきます。

### (3) 新規事業の開拓

指定管理事業拡大及び逗子市の公共サービス代行者の役割を担うべく体制を整えてまいります。人材派遣事業及びシルバーサービス事業等も含め、時代に合った市民サービスの開拓拡大を目指します。

## II. 会社の概況

### 1. 会社概要(平成 29 年 3 月 31 日現在)

- (1) 設立年月日 平成 3 年(1991 年)8 月 26 日
- (2) 払込資本金 1,040 万円
- (3) 主な事業内容 公共施設管理業務等
- (4) 従業員の状況 124 名(うち女性 17 名) 平均年齢 66.8 歳
- (5) 主な営業所 名称：本社  
所在地：〒249-0003 逗子市池子 4 丁目 948 番地
- (6) 営業年度 4 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までの年 1 期

### 2. 株式の状況(平成 29 年 3 月 31 日現在)

- (1) 発行済株式の総数 208 株 (1 株 5 万円)



## (2) 株主および出資状況

株 主 名	持株数	出資比率
逗子市	106 株	51.0%
株式会社横浜銀行	10 株	4.8%
かながわ信用金庫	10 株	4.8%
湘南信用金庫	10 株	4.8%
逗子市商工会	5 株	2.4%
社会福祉法人地域福祉協会	1 株	0.5%
社会福祉法人逗子市社会福祉協議会	1 株	0.5%
市民株主 48 名	63 株	30.0%
その他	2 株	1.0%

## 3. 取締役および監査役(平成 29 年 3 月 31 日現在)

職 名 ・ 氏 名	主 な 役 職 名
代表取締役 稲垣 正	当社社長
取締役 柏村 淳	逗子市副市長
取締役 飯田隆司	前社会福祉法人逗子市社会福祉協議会会長
取締役 安達俊雄	公益社団法人鎌倉法人会相談役
取締役 桑原泰恵	逗子市教育委員会委員長
監査役 小西一知	株式会社横浜銀行逗子支店長

## Ⅲ. 決算日後に生じた会社の状況に関する重要な事実

該当する事項はありません。

## Ⅳ 業務の適正を確保するための体制の運用状況

### 1. コーポレートガバナンス

・当社は取締役会設置会社であり、取締役会を年に 6 回開催しております。

### 2. コンプライアンス

・法令遵守は事業を遂行する上で当然の事であり厳守してまいります。

・「(株)パブリックサービス役職員行動規範(平成 26 年 12 月施行)」を制定しております。

### 3. リスク管理

・万が一の事故に備えて必要十分な保険を付保しております。

・想定される諸リスクに対して適正な対応がとれるように更なる対策を講じてまいります。

### 4. 内部統制

・内部統制がより機能する組織及び業務プロセスを構築してまいります。

[事業一覧]

<b>受託事業 委託者:逗子市</b>
駐輪場および駐車場(清水橋南駐輪駐車場、同北駐輪場、JR 逗子駅西駐輪場、同東駐輪場)4ヶ所の管理運営
逗子市内各所と高齢者センターを結ぶ福祉バスの運行
市内街区公園(74ヶ所)およびハイキングコース(二子山自然遊歩道、神武寺鷹取山、ふれあいロード、披露山浪子不動)4ルートの維持管理
環境クリーンセンターでの容プラ処理業務
放課後、土曜日などの学校施設開放管理業務(逗子小、久木小、沼間小、池子小)
小学校児童登下校時交通整理業務
郷土資料館管理業務
高齢者センター・グリーンメンテナンス
広報板掲示等業務
小坪コミュニティセンター清掃業務
自転車等保管場所管理業務(平成 28 年 4 月より)

<b>指定管理 委託者:逗子市</b>
逗子文化プラザ市民交流センターを指定管理者として運営管理する事業

<b>自主事業 委託者:民間</b>
ガーデンケア(市民のご家庭やマンションのお庭の手入れ)
市役所地下駐車場を土・日・祝日と年末年始のみお借りして営業する駐車場経営
逗葉地域医療センター様の施設管理業務
逗子桜山クリニック様の当直業務
逗子清寿苑様の庭園管理

以上

(注)事業報告、計算書類および株主資本等変動計算書はすべて消費税額抜きで表示してあります。

- ・金額は表示単位未満の端数を切り捨てて、また、パーセンテージは表示単位未満の数字を四捨五入して、表示してあります。

- ・「表 4・5・6」の金額表示は表示単位未満を四捨五入してあります。

事業実績に関する事項

第26期(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

事業		契約額/売上高(千円)	利用者数等	備考
受託事業(年間契約部門)				
	福祉バス運行管理	21,222	53,435人	バス3台運行
	街区公園・ハイキングコース維持管理	7,938		74公園、4ハイキングコース
	広報板掲示等業務	1,339	62ヶ所	
	郷土資料館管理	3,708	2,200人	前年度比微増。
	南・北駐輪駐車場管理	33,666	自動車 31,156台	
			定期自転車 2,062台	
			定期バイク 4,582台	
			一時自転車 53,010台	
			一時バイク 51,787台	
	西・東駐輪場管理	13,716	定期自転車 3,748台	
			定期バイク 2,658台	
			一時自転車 63,951台	
			一時バイク 21,931台	
	高齢者センター他グリーンメンテナンス	255		春・秋各1回
	小坪小学校区コミュニティーセンター清掃	184		28年6月終了
	自転車等保管場所	3,709	自転車 562台	
			バイク 62台	
受託事業(各月実績部門)				
	学校施設開放管理	8,952	63,182人	市内小学校4校
	容ブラ処理業務	15,206	ベール 699トン	前年度比40トン増
	登下校時交通整理	5,481		8ヶ所
指定管理者事業				
	会議室・市民交流スペース等利用者数	61,297	140,171人	前年度比4,500人増
	プール利用者数		63,006人	前年度比9,000人増
自主事業				
	市役所地下駐車場事業	3,524	6,271台	※有料駐車台数。土・日・祝祭日・年末年始営業
	清掃その他事業	32,857	616件(草庭木)+その他	草刈り・庭木剪定、清掃その他
	シルバーサービス事業	813		
(注)	披露山レストハウス売店	714		土日・祝祭日・年末年始営業。

(注)披露山レストハウス売店は共同事業であり、売上高は損益計算書には反映しておりません。持分相当の出資金(B/S)と損益(P/L)のみが当社財務諸表に反映しております。

第26期貸借対照表  
(平成29年3月31日現在)

(単位：千円)

項目	金額	項目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>I 流動資産</b>		<b>I 流動負債</b>	
現金	826	未払費用	18,312
預金	94,903	未払法人税等	200
売掛金	11,142	未払消費税等	3,236
立替金	154	前受金	667
仮払金	601	預り金	343
前払費用	372	仮受金	22
未収入金	449	流動負債合計	22,783
流動資産合計	108,449	<b>II 固定負債</b>	
		修繕引当金	3,000
<b>II 固定資産</b>		固定負債合計	3,000
(有形固定資産)		<b>負債合計</b>	25,783
建物	0	(純資産の部)	
構築物	18	<b>I 株主資本</b>	
車両運搬具	5,247	資本金	10,400
工具器具備品	65	利益剰余金	
		利益準備金	120
(投資その他の資産)		その他利益剰余金	77,951
披露山売店出資額	473	別途積立金	13,000
固定資産合計	5,804	新事業開発準備金	18,079
		市民貢献準備金	20,000
		繰越利益剰余金	26,872
		利益剰余金合計	78,071
		<b>純資産合計</b>	88,471
<b>資産合計</b>	114,254	<b>負債・純資産合計</b>	114,254

(注)有形固定資産の減価償却累計額：24,017千円

第26期損益計算書

自 平成28年4月1日

至 平成29年3月31日

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		
受託事業	115,378	
指定管理事業	61,297	
自主事業	37,194	
売上高合計		213,870
売上原価		192,665
売上総利益		21,204
販売費及び一般管理費		19,420
営業利益		1,783
営業外収益		
受取利息	5	
雑収入	641	
営業外収益合計		647
営業外費用		
雑損失	42	
営業外費用合計		42
経常利益		2,388
特別利益		
新事業開発準備金取崩益	212	
特別利益合計		212
特別損失		
固定資産除却損	0	
新事業開発費償却	212	
特別損失合計		212
税引前当期純利益		2,388
法人税、住民税及び事業税		200
当期純利益		2,188

### 第26期株主資本等変動計算書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)

(単位:千円)

	株主資本							株主資本合計	純資産合計
	資本金	利益剰余金							
		利益準備金	その他利益剰余金				利益剰余金合計		
			別途積立金	新事業開発準備金	市民貢献準備金	繰越利益剰余金			
当期首残高	10,400	120	13,000	18,291	0	44,683	75,975	86,495	86,495
当期中の変動額	0	0	0	0	20,000	-20,000	0	0	0
新事業開発準備金取崩益				-212			-212	-212	-212
市民貢献準備金取崩益								0	
当期純利益						2,188	2,188	2,188	2,188
当期末残高	10,400	120	13,000	18,079	20,000	26,872	77,951	88,471	88,471

(附属明細書)

## 財産目録

(平成29年3月31日現在)

(単位:千円)

資産の明細	金額	説明
現金	826	現金
預金	94,903	預金残高
売掛金	11,142	逗子市、逗葉地域医療センター、ガーデンケア(個人等)、逗子桜山クリニック、シルバーサービス
立替金	154	社員立替金
仮払金	601	駐輪・駐車場用釣り銭7ヵ所
前払費用	372	賠償責任保険前払分、自動車リサイクル預託金、
未収入金	449	市民交流センター使用料
建物	0	学校開放業務員詰所2棟
構築物	18	給排水設備
車両運搬具	5,247	バス3台、軽自動車8台、バイク1台
工具器具備品	65	物置2棟、キャッシュレジスター1台、プールロッカー
披露山売店出資金	473	共同事業出資分
合計	114,254	

## 注記表

この書類記載の計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」にしたがって作成されています。

### (1) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

#### (1-1) 資産の評価基準および評価方法

個別原価法によります。

#### (1-2) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 定額法を採用しています。

無形固定資産 定額法を採用しています。

#### (1-3) 収益および費用の計上基準

収益は実現主義及び費用は発生主義によります。

#### (1-4) 計算書類作成のための重要な事項

##### ① リース取引の処理方法

リース取引はありません。

##### ② 消費税などの会計処理

税抜方式によります。

### (2) 貸借対照表に関する注記

#### (2-1) 保証債務などの金額

当該債権債務の金額はありません。

#### (2-2) 取締役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

#### (2-3) 監査役に対する金銭債権または債務の金額

当該債権債務の金額はありません。

### (3) 株主資本等変動計算書に関する注記

#### (3-1) 発行済み株式の数

普通株式

前期末株式数 208株

当期末株式数 208株



# 監査報告書

平成29年5月9日

株式会社 パブリックサービス

代表取締役 稲垣 正 殿

監査役 小西 一知

私、監査役は平成28年4月1日から平成29年3月31日までの第26期事業年度における事業報告、計算書類(貸借対照表、損益計算書及び株主資本等変動計算書)及び付属明細書を監査した結果について、次のとおり報告します。

1. 事業報告は、法令及び定款に従い会社の状況を正しく報告しているものと認める。
2. 会計帳簿は、正しく記載されており計算書類の記載と合致していることを認める。
3. 計算書類は、計算書類規則に適合し法令及び定款に従い、会社の財産及び損益の状況を正しく示しているものと認める。
4. 付属明細書は、前掲規則に基づき正しく記載されており、会計帳簿及び計算書類の記載と合致していることを認める。
5. 業務の遂行に関し、法令若しくは定款に違反する重大な事実はなく公正であることを認める。

以 上

監査役の監査報告書 写

## 第 27 期 事 業 計 画

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

### (1) 事業全般

第 27 期は、市民交流センター管理、容プラ処理、郷土資料館管理の業務が 3 年目、自転車保管場所管理は 2 年目に入る年度であります。

安全第一及び顧客サービス向上を引き続き重点項目とし堅実に事業全般を運営してまいり所存です。

尚、今期中 逗子・市街地域に新たに事務所(逗子市から賃貸)を設ける予定です。新規事業開発推進に好条件な立地と思料します。

### (2) 新規事業開発

・逗子文化プラザホールの公募が予定されています。前回は総合第二位と残念な結果になりました。逗子市民にとって当ホールがより身近で、使い勝手が良いと感じる運営をめざして再度挑戦いたします。

・シルバーサービス事業(掃除、家事支援等のサービス)は拡大させていく予定です。

・人材派遣事業の営業許可を取得しましたので、今期中にスタートを切り徐々に体制を整えてまいります。

### (3) 第 27 期事業予算

#### ① 予算の構成

17 ページ記載の『第 27 期予測損益計算書(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)』をご参照ください。

・予算は 3 部構成になっております。

I：既存業務に関する損益予算：受託事業・指定管理・自主事業

II：新事業開発に関する経費予算：新事業開発準備金から充当

III：市民貢献に関する経費予算：市民貢献準備金から充当

### 27 期:事業別予算要旨

#### 《 I :既存事業》

売上高は 2 億 993 万円(26期実績比 394 万円減)とします。

受託事業は 1 億 1,696 万円、指定管理は 5,630 万円、自主事業は 3,666 万円。

営業利益 17 万円。経常利益 77 万円。当期純利益 57 万円。

26 期実績に比べ利益は減少しております。

「販売費及び一般管理費」には新設事務所関係の諸経費 177 万円が含まれておりま  
す。

固定資産「壁紙部分張替・床張替等(減価償却対象)」は120万円を見込んでいます。

① 受託事業

逗子市の受託事業 1 億 1,696 万円(26 期実績比 158 万円増)。

最低賃金が 930 円/時から 960 円/時に改定される事を見込み、契約額は当該分増加  
しておりますが、市の緊縮財政により従前の基準額と比べ 3 期連続で 3%の減額になっ  
ております。

② 指定管理事業

売上高は 5,630 万円(26 期実績比 499 万円減)

27 期も民活部門(プール、会議室等利用収入)の増収を目指します。

③ 自主事業

売上高 3,666 万円(26 期実績比 53 万円減)

26 期と同額水準で見えています。

※ 17 ページの「第 27 期予測損益計算書」を参照ください。

Ⅱ:「新事業開発準備金」からの充当分。

経費総額 500 万円とします。

「第 27 期予測損益計算書」の特別利益及び特別損失に同額で表示されています。

(内訳)

新規事業名	概算金額(千円)	経費項目
逗子文化プラザホール指定管理準備費用	5,000	人件費、その他
シルバーサービス開発費用		
人材派遣事業開発費用		
その他		その他経費

Ⅲ:「市民貢献準備金」から充当。

現在、有効な資金活用に向けて検討を進めております。

金額は未定ですので、総額 2,000 万円の 3 分の 1、670 万円を仮置きとさせて戴きま  
す。

「第 27 期予測損益計算書」の特別利益及び特別損失に同額で表示しています。

以上

第27期予測損益計算書				
(平成29年4月1日から平成30年3月31日まで)				
(単位:千円)				
	科 目	第27期(予算)	参考 第26期 (実績)	差異
		①	②	①-②
予算 I	売上高			
	受託事業	116,966	115,378	1,588
	指定管理事業	56,300	61,297	(4,997)
	自主事業	36,664	37,194	(530)
	売上高合計	209,930	213,870	(3,940)
	売上原価	189,135	192,665	(3,530)
	売上総利益	20,795	21,204	(409)
	販売費及び一般管理費	20,624	19,420	1,204
	営業利益	171	1,783	(1,612)
	営業外収益			
	受取利息	5	5	0
	雑収入	600	641	(41)
	合計	605	647	(42)
	営業外費用			
	雑損失	0	42	(42)
	合計	0	42	(42)
経常利益	776	2,388	(1,612)	
予算 II 予算 III	特別利益			
	新事業開発準備金取崩益	5,000	212	4,788
	市民貢献準備金取崩益	6,700	0	6,700
	合計	11,700	212	11,488
	特別損失			
	新事業開発費償却	5,000	212	4,788
	市民貢献準備金償却	6,700	0	6,700
合計	11,700	212	11,488	
	税引前当期純利益	776	2,388	(1,612)
	法人税等	200	200	0
	当期純利益	576	2,188	(1,612)
(注) 差異の( )はマイナスを表します。				